日本 フェアトレード ・ フォーラム（FTFJ）
2024 年度 事業報告

（2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日）

【2024 年度の全体総括と報告概要】

2024 年度も、多くの会員の皆様に支えられ、当法人は着実に運営を続けることができました。日頃よりご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年度は新たな認定において進展が見られました。
フェアトレードタウンとして新たに神奈川県鎌倉市が認定され、フェアトレード大学には新潟国際情報大学、立命館アジア太平洋大学が加わりました。翌年度とはなりますが、フェリス女学院大学の認定もでき、広がりを見せています。
加えて、フェアトレードスクール登録校も 4 校増加し、運動のさらなる広がりを実感しております。

5 月には、全国各地でフェアトレードに関する多数のイベントが開催され、大きな盛り上がりを見せました。地域に根ざした取り組みがより活発になっており、フェアトレードの理念が着実に広がっていることが見て取れます。こうした広がりの背景には、会員の皆様をはじめとした各地での熱心な活動があることを、あらためて強調させていただきます。

また本年度は、フェアトレードタウンの自治体担当者との意見交換会を開催いたしました。
タウンにおけるミーティングでは、自治体のご担当者とともに具体的な事例や取り組みの方向性について意見交換を行い、今後の活動に資する有意義な機会となりました。

フェアトレードタウン第一号、第二号である熊本市および名古屋市へは代表理事の内山が表敬訪問を行い、現地の推進団体ならびに自治体のご担当者と直接対話を重ねました。現場の状況や課題、今後の展望について意見交換を行い、連携の深化につながる有意義な機会となりました。今後も、順次フェアトレードタウンおよびフェアトレード大学を訪問し、対話の機会を設けてまいります。現場の声に耳を傾け、各地域の取り組みを支援する体制を強化してまいります。

組織体制の強化に向けた取り組みとして、非常勤事務局スタッフ 2 名を新たに採用いたしました。本事務局経費については、役員からの寄付を原資としたものであり、将来的なフェアトレードタウンやフェアトレード大学の普及への期待から寄付をいただいております。
また、認定委員会と理事会との意見交換会を計 6 回にわたり実施し、認定制度の改善や今後の方針について建設的な議論を行いました。さらに、役員全員が参加する経営合宿を開催し、法人の中長期的なビジョンや運営体制の在り方について集中的に協議する機会を設けました。

2024 年度は、新たな広がりとともに、いくつかの課題にも直面した一年となりましたが、皆様のご支援のおかげで着実な成果を挙げることができました。今後も、フェアトレードの理念を社会に広げていくため、全力を尽くしてまいります。引き続き、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本事業年度終了時の会員の状況は以下の通りです。（内は前年同期）

	個人	組織	フェアトレードショップ	合計
正会員	30(+4)	17（±0)	3（±0)	50(+4)
賛助会員	7(-1)	7（-1)	3（+1)	17(-1)
合計	37(+3)	24(-1)	6（+1)	67(+3)

◇サポーター

月額サポーター 500 円	月額サポーター 1,000 円	月額サポーター 3,000 円	年額サポーター 10,000 円
2 人	2 人	1 人	1 人

＊＊

定款第４条（事業）の分類に従って、2024 年度に実施した事業を報告する。

1. フェアトレードの普及および啓発に関する事業

(1) フェアトレードタウン自治体担当者意見交換会の開催

フェアトレードタウンの自治体の担当者が集まり、各地域の取り組みや課題について意見交換を行いました。実際の事例を共有し、今後のタウン運動の発展につながる有意義なミーティングとなりました。

・第 1 回（2025 年 2 月 28 日）

参加自治体： 熊本市、名古屋市、逗子市、浜松市、札幌市、いなべ市、鎌倉市

なお、今年度（2025 年 6 月 30 日まで）における実施は 1 回のみとなっておりますが、翌年度となる 8 月 18 日までに以下の取り組みもすでに実施されています。）

・フェアトレードタウン自治体担当者意見交換会 第 2 回（2025 年 7 月 28 日）

参加自治体：熊本市、名古屋市、逗子市、浜松市、札幌市、いなべ市、鎌倉市

・フェアトレード大学担当者意見交換会 第 1 回（2025 年 8 月 7 日）

参加大学：静岡文化芸術大学、札幌学院大学、北星学園大学・北星学園大学短期大学部、千葉商科大学、新潟国際情報大学、立命館アジア太平洋大学、フェリス女学院大学

(2) 各地のフェアトレード・イベントでのセミナー開催／後援／登壇

○ フェアトレード・イベント

各地のフェアトレードのイベントなどに FTFJ が後援し、活動を後押しした。

タイトル、主催者など	開催日
第 15 回世界フェアトレードデー名古屋	2025/5/3
フェアトレードデー垂井	2025/5/25
逗子フェアトレードタウンフォーラム	2025/5/17

2. 国内および国際的なネットワーク事業

(1) 国際フェアトレードタウン会議

2024 年 9 月 17 日～19 日に南アフリカ・ケープタウンで開催されたフェアトレードタウン国際会議において、FTFJ からは、日本のフェアトレードタウン、フェアトレード大学の普及状況について情報提供を行いました。本会議には、認定委員でありフェアトレードシティくまもと推進委員会代表の明石祥子氏、および逗子フェアトレードタウンの会共同代表の磯野昌子氏が出席され、世界各地のフェアトレードタウンとの情報交換と連携を進められました。

また、次年度となる 2025 年 8 月 30 日から 31 日にかけては、スコットランド・エディンバラにて

開催予定の「第 18 回国際フェアトレードタウン会議」への出席を予定しております。本会議は、Edinburgh Fairtrade City Group および Scottish Fair Trade の共催により実施され、「Your Town, Our World: Fair Trade Communities & Local Action to achieve the Sustainable Development Goals（あなたのまち、私たちの世界：持続可能な開発目標の達成に向けたフェアトレードコミュニティと地域の行動）」をテーマに、世界各国から推進者、支援者、企業、生産者が集い、議論と交流が行われます。

当法人からは、代表の内山および副代表の高津、監事の原が出席を予定しており、国内外のフェアトレード推進のさらなる連携強化を目指してまいります。

(2) FLJ ミリオンアクションキャンペーンとの連携
5 月のフェアトレード月間に特定非営利活動法人 フェアトレード・ラベル・ジャパンが主催する「ミリオンアクションキャンペーン」に特別協力し、フェアトレードタウンと、タウンを目指す地域からのフェアトレード・イベント情報を中心に、会員団体等の 5 月のフェアトレード・イベントを取りまとめました。

FTFJ は約 30 件のイベントをホームページや SNS にて紹介しました（末尾の「参考資料」参照）

3. フェアトレードの理念を実現するための政府・企業セクターへのアドボカシー事業

(1) フェアトレードに関心を持つ企業への働きかけ
特になし

(2) フェアトレード調達の普及
監事の小吹氏が「消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク」の活動に参画。2024 年度には、ネットワークの活動としてトイレタリー業界に関する調査を実施しました。その成果として、「企業のエシカル通信簿」における人権・労働部門の報告を担当し、企業の社会的責任に関する情報発信に寄与しました。

(3) 政府セクターへの提案
2025 年 9 月 17 日に開催予定の JICA-NGO 協議会において、当法人はフェアトレードのさらなる普及促進を目的とした提案を行う予定です。具体的には、フェアトレードを集中的に発信・啓発する期間として「フェアトレード・フォートナイト（Fair Trade Fortnight）」の導入を提案し、国内外の関係機関との連携を図りながら、活動の浸透を目指してまいります。

4. フェアトレードタウンおよびフェアトレード大学等の類似イニシアチブの推進に関する事業

(1) フェアトレードタウン／フェアトレード大学運動の普及

本年度は、フェアトレードタウンおよびフェアトレード大学の推進に向けて、自治体担当者との直接的な意見交換の機会を設けました。

2 月には、フェアトレードタウン自治体担当者意見交換会を開催し、全国各地の自治体担当者にご参加いただきました。ミーティングでは、各地域における具体的な取り組み事例や、今後のフェアトレードタウンの在り方について活発な意見交換が行われ、運動のさらなる発展につながる有意義な機会となりました。参加自治体からは、「すでにフェアトレードタウンを目指している自治体と、これから検討する自治体が一緒に議論することで、より深い学びと気づきが得られた」といった前向きな声も寄せられ、今後の開催に向けた重要な示唆を得ることができました。

(2) フェアトレードスクール運動の推進

2022 年 9 月にはじまった「フェアトレードスクール登録制度」に新たに 4 校が登録を行い、合計 10 校となりました。

1. 自修館中等教育学校（自修館中等教育学校 Jishukan Internional Club）
2. 市立札幌清田高等学校（市立札幌清田高校グローバルコース）
3. 新潟県立三条商業高等学校（新潟県立三条商業高等学校）
4. 熊本学園大学付属高等学校（熊本学園大学付属高等学校 FAIRMMY（ファーミー））

5. フェアトレードタウンおよびフェアトレード大学等の類似イニシアチブの基準等の策定ならびに認定に関する事業

(1) フェアトレードタウン／大学の認定・更新

○ 新規認定
- 神奈川県鎌倉市(2025 年 3 月 4 日)
- 新潟国際情報大学(2024 年 11 月 18 日)
- 立命館アジア太平洋大学(2025 年 2 月 14 日)

○ 更新認定
- 愛知県名古屋市（2025 年 3 月 4 日）
- 熊本県熊本市(2025 年 6 月 3 日)

○ 新規認定申請受付中
- フェリス女学院大学(なお、2025 年 7 月 5 日に認定済)

○ 更新認定申請受付中
- 北海道札幌市（現在審査中）
- 三重県いなべ市（現在審査中）
- 札幌学院大学大学短期大学部（現在審査中）

※2025 年 1 月 24 日、新潟国際情報大学にて開催されたフェアトレード大学認定式に代表理事の内山が出席し、記念講演を行いました。また、5 月 6 日には鎌倉市議会議場で開催された鎌倉市フェアトレードタウン認定式に、代表理事の内山および監事の小吹が出席しました。

(2)認定委員会・理事会オンライン意見交換会

今年度には認定委員会と理事会メンバーによるオンライン意見交換会を定期的に開催いたしました。鎌倉市での新たなフェアトレードタウン認定と、来年度の全国フォーラム開催の検討を共有したほか、情報公開と透明性のあり方について、評価報告書や申請書の公開方法を再設計する必要性が議論されました。

また、新規申請団体への伴走支援の仕組みをめぐり、認定員の役割分担や利益相反の回避、事務局リソースの限界と強化の必要性が指摘され、認証委員会と理事会の役割分担をより明確にすることが課題として確認されました。

6. フェアトレードの理念を国内および地域社会に実現するための事業

(1)「国内フェアトレード」の推進に向けた活動

特になし

7. 責任ある消費の普及等、公正かつ持続可能な社会創りを目指す活動や運動と連携した事業

(1)エシカル市場規模調査への後援

2024 年度は、エシカル市場の拡大を明らかにする「エシカル市場規模調査」に対し、（一社）日本エシカル推進協議会とともに後援を行い、成果の公表において役割を果たしました。

この調査は 2023 年秋に実行委員会が組織され、1 年間の調査を経て、2022 年の日本のエシカル市場規模が 8 兆円超に達したこと、またフェアトレード市場が 400 億円に到達したことを明ら

かにしたものです。

8. その他　この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) FTFJ 経営合宿の開催

2025 年 3 月 28 日から 29 日にかけて、岐阜県垂井町にて理事・監事による合宿を開催しました。6 名が参加し、FTFJ の未来に向けた合意形成と新たなビジョンづくりの第一歩として議論を行いました。フェアトレードが当たり前となる社会の実現に向け、課題や戦略について多角的に意見を交わし、具体的なアクションプランや認定基準の見直しなど今後の活動方針を整理しました。参加者は異なる視点からの意見交換を通じて認識を深め、共通理解の基盤を築く機会となりました。

(2) 代表理事による表敬訪問

2024 年 12 月 12 日、代表理事の内山が熊本を訪れ、フェアトレードシティくまもと推進委員会ならびに熊本市役所を表敬訪問しました。アジア初・日本初のフェアトレードタウンとしての熊本の取り組みに敬意を表し、今後の連携や活動の方向性について意見交換を行いました。翌 13 日には熊本市国際交流会館も訪問し、推進協議会関係者との交流を深めました。

2025 年 2 月 14 日には、名古屋の JICA 中部を訪問し、理事らとともにフェアトレードに関する懇談を行いました。意見交換や地球ひろばの視察、愛知大学キャンパス見学を通じ、2025 年 9 月に予定している「フェアトレード全国フォーラム」開催に向けた準備を進める機会となりました。

(3) 組織財政基盤の強化

〇組織の持続可能性と財政基盤の強化を目的に、外部資金の獲得に取り組みましだ。具体的には、以下の補助金・支援プログラムへの応募を行いました。

・国際交流基金 地球市民賞
・岩佐賞（岩佐教育文化財団） 2 回
・一般社団法人 価値を大切にする金融実践者の会（JPBV） ソーシャルビジネス支援プログラム

いずれの申請も、本法人の理念と活動内容を丁寧に伝えたうえで実施したものの、いずれも採択には至りませんでした。

しかし、応募に向けた申請準備の過程で、活動の社会的意義や成果の整理が進み、団体の基盤強化にとって有意義な機会となりました。

今後も、外部資金の活用を視野に入れつつ、事業内容と成果の発信力を高め、次年度以降の採択につなげていく方針です。

(4) 事務局体制の強化

今年度は、非常勤スタッフを 2 名採用し事務局体制を構築しました。これまで属人化していた業務内容を、ノーション等のツールを活用しながら、マニュアル作成を進めるなど、業務効率化を実施しました。

(5)ファンドレイジング構想

中長期的な財政基盤の安定化に向け、ファンドレイジングの構想について検討を開始しました。来年度は、FTFJ の理念や方針に賛同する個人や団体を対象にした寄付を基盤とするファンドレイジングの仕組みを企画し、共感の輪を広げながら持続可能な組織運営を目指す予定です。

以上

【参考資料】
フェアトレード月間である 2025 年 5 月を中心に各地で開催されたイベント
（※FTFJ で把握しているもの）

開催日時	イベント名	主催
2025 年 4 月 20 日(日) 10:00~15:00	フェアトレードマーケット 2025	はままつフェアトレードタウン・ネットワーク
2025 年 4 月 22 日(火)	バナナから考えるわたしたちの社会	流通経済大学・加藤ゼミ
2025 年 4 月 22 日(火)～5 月 5 日(月)10:00～18:00	草の根の力が紡ぐ年月 協力隊フィリピン OBOG 会とハロハロ	NPO ハロハロ
2025 年 4 月 29 日(火・祝)14:00～17:00	大府市のオリジナルコーヒーを決める、フェアトレードコーヒー飲み比べイベント	おおぶフェアトレードタウン推進委員会
2025 年 4 月 30 日（水）～5 月 6 日（火・祝）	新宿タカシマヤ［推し 100］フェアトレードについてもっと知ろう！	新宿タカシマヤ
2025 年 5 月 10 日（土） 10:00～15:00	フェアトレードを身近に！フェアトレードマルシェ	フェアトレードシティくまもと推進委員会
2025 年 5 月 10 日（土） 10:00~12:00	館山・那古海岸で「フェアトレードウォーク」（ビーチクリーン）しましょう！	館山フェアトレードタウン推進委員会
2025 年 5 月 11 日 (土)10:00～15：00	いなべフェアトレード・デー	いなべフェアトレードタウン
2025 年 5 月 11 日（土） 11:00～14:00 頃	春のエシカルお茶会・番外編「金沢文庫のイベントを訪問しよう！」	港区エシカルコミュニティ
2025 年 5 月 11 日 (日)14:00～15:30	PRIYO オンラインイベント 2025「逆境を力強く生きるバングラデシュのある女性たち」	PRIYO handicrafts
2025 年 5 月 12 日 (月)11:00～16:00	フィリピンの女性たちの自立を支援する NPO ハロハロ アクセサリー雑貨販売会	三菱ケミカル労働組合東京支部
2025 年 5 月 14 日 (水)18:00 - 21:00	FOOD MADE GOOD 映画祭 ～映画を通じて、未来の食を考える	SRA ジャパン
2025 年 5 月 15 日(木)～5 月 30 日(金)11:00-19:00 定休：月/火	世界の女性たちとつながる手仕事展 『フェアな未来への五重奏』	BEANS' Act（ビーンズアクト）

2025 年 5 月 17 日	逗子フェアトレードタウンフォーラム 2025 今、「平和」を考える	逗子フェアトレードタウンの会、逗子市
2025 年 5 月 17 日（土）10：30-17：00	逗子フェアトレードタウン・フォーラム 2025～今、「平和」を考える～	逗子フェアトレードタウンの会
2025 年 5 月 17 日（土）10:30/14:00/18:30（1 日 3 回上映）	観るフェアトレード！「私の服の向こう側に」上映会	株式会社のっぽくん
2025 年 5 月 17 日（土）18：30～20：00	フェアトレード北海道講演会「おめでとう！フェアトレードタウン鎌倉への歩み」	フェアトレード北海道
2025 年 5 月 18 日（日）9:00～16:00	つながる ひろがる！コミュニティ・マーケット「鎌人いち場」に出展	鎌倉エシカルラボ
2025 年 5 月 19 日(月)～23 日(金)、25 日(日)	千葉市フェアトレードウィーク	ちばフェアトレード推進グループ
2025 年 5 月 1 日(木)～5 月 31 日(土)	セブの女性たちとのエシカルアクセサリー NINDOT 割引キャンペーン	NPO ハロハロ
2025 年 5 月 1 日(木)～5 月 31 日(土)	マニラの女性たちとのフェアトレード小物雑貨 AngKyut 割引キャンペーン	NPO ハロハロ
2025 年 5 月 1 日（木）～5 月 31 日（土）	鎌倉の歴史と味が蘇る！安国論寺監修「御難おむすび」	鎌倉エシカルラボ /株式会社ミツハシ / 安国論寺
2025 年 5 月 22 日(木) 10:00~15:00	フェアトレードマママルシェ	フェアトレードシティくまもと推進委員会（グランモッコ主催マルシェにブース参加）
2025 年 5 月 24 日(土)	フェアトレード映画上映会	シサム工房
2025 年 5 月 24 日（土）14:00~17:00	【フェアトレードと SDGs の未来】 フェアトレード リユニオン 第 2 回	フェアトレードむさしのｘＩＣＵ　ＳＤＧｓ推進室（ＥＬＡＢＥＬ）
2025 年 5 月 25 日（日）10:00～16：00	フェアトレードデイ垂井	フェアトレードデイ垂井実行委員会、フェアトレードタウン垂井推進委員会

2025 年 5 月 31 日 （土） 16:50 〜 17:50	【インスタライブ】フェアトレード夕涼み〜アフリカ浴衣と隅田川の風で世界とつながる会	一般社団法人エシカルモデル協会・浅草エシカルプロジェクト
2025 年 5 月 31 日（土） 10:00〜16:00	2025FairTrade 月間、Local FairTrade マルシェ	NPO 法人東アジア共生文化センター
2025 年 5 月 3 日 (土)14:00〜17:00	フェアトレード雑貨メンテナンス ボランティアデー	NPO ハロハロ
2025 年 5 月 4 日 (日)12:30〜13:30	だれでもフラットに参加できるみんなの地域食堂【おてら食堂】	安国論寺 /（一社）ふらっとカフェ鎌倉 /（社福）きしろ社会事業会
2025 年 5 月 7 日（水）〜5 月 31 日（土）	2025FairTrade 月間：持続可能な地球村と多文化共生農村づくり	熊本学園大学フェアトレード研究会
2025 年 5 月 7 日(水)〜5 月 31 日(土)	フェアトレードコーヒーを使用した期間限定商品の販売	千葉商科大学 The University DINING